

ネイティブポークリンロイシンアミノペプチダーゼ、ミクロソーム

Cat. No. NATE-0378

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ロイシルアミノペプチダーゼは、ペプチドおよびタンパク質のN末端におけるロイシン残基の加水分解を優先的に触媒する酵素です。ただし、他のN末端残基も切断される可能性があります。LAPは超界にわたって発見されています。特定されたLAPには、ヒトLAP、ウシレンズLAP、ブタLAP、大腸菌（E. coli）LAP（PepAまたはXerBとも呼ばれる）、およびトマト（Solanum lycopersicum）におけるナス科特異的酸性LAP（LAP-A）が含まれます。

別名 ロイシンアミノペプチダーゼ、ミクロソーム; 9054-63-1; ロイシンアミノペプチダーゼ; ロイシンペプチダーゼ; ペプチダーゼ S; 細胞質アミノペプチダーゼ; カテプシン III; L-ロイシンアミノペプチダーゼ; ロイシンアミノペプチダーゼ; ロイシニアミドアミノペプチダーゼ; FTBLタンパク質; プロテイナーゼ FTBL; アミノペプチダーゼ II; アミノペプチダーゼ III; アミノペプチダーゼ I; EC 3.4.11.1; ロイシンアミノペプチダーゼ; LAP

製品情報

種	豚の
由来	豚腎ミクロソーム
形態	フリーズドライ粉末
EC番号	EC 3.4.11.2
CAS登録番号	9054-63-1
活性	20 U/mg タンパク質
単位定義	25°C、pH 8.5で1分あたり1マイクロモルのL-ロイシニアミドの加水分解を触媒する酵素の量。